



## 地域復興マッチング「結の場」(石巻市・気仙沼市)

### におけるマッチングプロジェクトの成果について (フォローアップ調査)

復興庁では、被災地域の企業が抱える多様な経営課題の解決を図るため、大手企業等が、技術、情報、販路など、自らの経営資源を幅広く提供する支援事業の形成の場として、地域復興マッチング「結の場」を実施しています。

平成 24 年度に石巻市(平成 24 年 11 月)及び気仙沼市(平成 25 年 2 月)において開催した「結の場」では、50 件のマッチングプロジェクトが成立し、様々な事業が実施されております。

今般、24 年度に成立した 50 件のマッチングプロジェクトについて、成果等に関するフォローアップ調査を実施し、その結果を別添のとおりとりまとめましたので、公表いたします。

#### (添付資料)

- 資料1 平成 24 年度開催の地域復興マッチング「結の場」における  
マッチングプロジェクトの成果の概要
- 資料2 平成 24 年度「結の場」主なマッチングプロジェクトの成果
- 資料3 平成 24 年度「結の場」マッチングプロジェクトの成果一覧
- 参考資料 地域復興マッチング「結の場」の概要

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

復興庁 企業連携推進室	中橋、皆藤、石川、西野	TEL : 03-5545-7253
宮城復興局	成田、佐々木、秋藤、渡辺、日江井	TEL : 022-266-2251

## 平成 24 年度開催の地域復興マッチング「結の場」における マッチングプロジェクトの成果の概要

### 1. 石巻市

#### <ワークショップ開催概要>

開催日：平成 24 年 11 月 28 日 場所：石巻商工会議所会議室  
 参加企業数：大手企業等 35 社 被災地域企業 13 社  
 成立したマッチングプロジェクト：24 件

#### <マッチングプロジェクト支援項目別の成果>

マルシェの開催	6 件
・マルシェの開催回数（※1）	26 回
・マルシェにおける売上金額（※2） （一般向又は社員向物産販売）	約 1,600 万円 （9 回計）
商談会開催など販路開拓の支援	12 件
企業・商品プロモーションの実施	6 件
新商品の開発・販売開始	2 件
経営者・従業員向けセミナーの開催・各種コンサルティング	9 件
その他（商品の機能分析の実施、オフィス機器の無償レンタル）	2 件

### 2. 気仙沼市

#### <ワークショップ開催概要>

開催日：平成 25 年 2 月 13 日 場所：気仙沼市魚市場  
 参加企業数：大手企業等 33 社 被災地域企業 10 社  
 成立したマッチングプロジェクト：26 件

#### <マッチングプロジェクト支援項目別の成果>

マルシェの開催	5 件
・マルシェの開催回数（※1）	17 回
・マルシェにおける売上金額（※2） （社員食堂、一般向又は社員向物産販売）	約 1,550 万円 （15 回計）
商談会開催など販路開拓の支援	13 件
企業・商品プロモーションの実施	3 件
新商品の開発・販売開始	3 件
経営者・従業員向けセミナーの開催・各種コンサルティング	7 件
その他（オフィス機器の無償レンタル）	1 件

（※1）マルシェ開催は、H26 年度末までの実施回数。

（※2）マルシェにおける売上金額は、確認がとれたプロジェクトの合計。

(参考)

## 平成24年度開催の地域復興マッチング「結の場」で成立したマッチングプロジェクト一覧

## 【石巻市】

	プロジェクト	支援企業	被災地域企業
1	新商品開発支援マッチング「三陸わかめ餃子プロジェクト」	リソースイチバ、(株)杏和国際(粥菜坊)	(有)マルイチ西條水産
2	機能分析、強化を通じた商品力向上プロジェクト	キリン協和フーズ(株)	(株)ヤマトミ
3	「結の場」石巻 共同通販プロジェクト	(株)トラストパートナーズ、(一社)新興事業創出機構、リソースイチバ、(一社)東の食の会、(株)安藤・間、(株)ラックランド、三機工業(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、大日本印刷(株)、メタウォーター(株)、(株)ファミリーマート	湊水産(株)、(株)高徳海産、(株)ヤマトミ、山徳平塚水産(株)、(有)マルイチ西條水産、末永海産(株)、(株)丸平かつおぶし、(一社)石巻元気復興センター
4	「結の場」石巻 企業マルシェプロジェクト	(一社)新興事業創出機構、リソースイチバ、(一社)東の食の会、アサヒグループホールディングス(株)、リコージャパン(株)、三井不動産(株)、(株)安藤・間、(株)ラックランド、三機工業(株)、SCSK(株)、日本GE(株)、日本IBM(株)、コクヨ(株)、積水ハウス(株)、Amazonジャパン、三井住友海上火災保険(株)	湊水産(株)、(株)高徳海産、(株)ヤマトミ、(株)三政商店、山徳平塚水産(株)、(有)マルイチ西條水産、(株)カクト鈴木商店
5	「結の場」石巻 社員食堂プロジェクト	(一社)新興事業創出機構、リソースイチバ、(一社)東の食の会、積水ハウス(株)、SCSK(株)、大日本印刷(株)	湊水産(株)、(株)ヤマトミ、山徳平塚水産(株)、(有)マルイチ西條水産、(株)カクト鈴木商店
6	新たなチャネル開拓プロジェクト	(一社)東の食の会	湊水産(株)
7	社員用備蓄非常食の定期購入プロジェクト	三菱地所(株)	三洋食品(株)石巻工場
8	『結の場』商談会in三菱地所	三菱地所(株)	湊水産(株)、(株)ヤマトミ、山徳平塚水産(株)、(有)マルイチ西條水産、末永海産(株)、(株)ヤマサコウショウ、(株)三政商店
9	食べてつながる もっと東北応援メニュープロジェクト	リソースイチバ	(株)ヤマトミ、山徳平塚水産(株)、(有)マルイチ西條水産
10	住宅販売イベント「住まいの夢博」への出店・販売支援プロジェクト	積水ハウス(株)	(株)カクト鈴木商店、(株)ヤマトミ、山徳平塚水産(株)、(有)マルイチ西條水産、(一社)石巻元気復興センター、末永海産(株)、(株)山形屋商店、(株)ヤマサコウショウ
11	秋葉原「MOTTAINAI フェスタ」への出店・販売支援プロジェクト	(株)国際マネジメントシステム研究所	(株)ヤマトミ、山徳平塚水産(株)、(一社)石巻元気復興センター
12	霞マルシェ/日本橋室町マルシェプロジェクト・石巻復興応援マルシェ in 三井アウトレットパーク仙台港	三井不動産(株)	湊水産(株)、(株)ヤマトミ、山徳平塚水産(株)、(有)マルイチ西條水産、(一社)石巻元気復興センター
13	丸の内東北応援フェア「マル・デ・ミヤギ」	三菱地所(株)、(株)河北新報社	湊水産(株)、(株)ヤマトミ、山徳平塚水産(株)、(有)マルイチ西條水産、(株)ヤマサコウショウ
14	『結の場』マルシェ in 泉パークタウン タピオ	三菱地所(株)	湊水産(株)、(株)ヤマトミ、山徳平塚水産(株)、(有)マルイチ西條水産、(株)ヤマサコウショウ
15	(株)高徳海産ブランド強化プロジェクト	凸版印刷(株)	(株)高徳海産
16	湊水産(株)ブランド強化プロジェクト	凸版印刷(株)	湊水産(株)
17	「経営計画セミナー」「人事労務セミナー」「顧客対応力アップセミナー」	三井住友海上火災保険(株)	(株)米貞商店、湊水産(株)、(株)高徳海産、山徳平塚水産(株)、石巻水産復興会議
18	商品開発導入セミナー	大日本印刷(株)	(株)高徳海産、(株)ヤマトミ、山徳平塚水産(株)、太協物産(株)、(株)マルト高橋徳治商店、石巻水産復興会議
19	人材育成(ビジネススキル向上)を目的としたファシリテーション研修	キャノンマーケティングジャパン(株)	湊水産(株)、(株)高徳海産、(株)カクト鈴木商店
20	人材育成(営業力強化)を目的としたプレゼンテーション研修	キャノンマーケティングジャパン(株)	湊水産(株)、(株)高徳海産、(株)カクト鈴木商店
21	プレゼンテーション研修	コクヨファニチャー(株)	湊水産(株)、日宝物産(株)
22	販路拡大の為にDM作成支援プロジェクト	キャノンマーケティングジャパン(株)	湊水産(株)
23	新工場再建計画支援プロジェクト	(株)安藤・間	(株)米貞商店
24	クラウド型販売管理導入支援プロジェクト	日本電気(株)	(株)ヤマトミ、山徳平塚水産(株)

## 【気仙沼市】

	プロジェクト	支援企業	被災地域企業
1	「サメの街気仙沼構想推進協議会」サポートプロジェクト	アサヒグループホールディングス(株)、(株)NTTドコモ、(株)丹青社、大日本印刷(株)、(株)電通東日本、Yahoo! JAPAN(株)	(株)石渡商店、カネヒデ吉田商店、(有)三陸鮫類、高橋水産(株)、(株)中華高橋水産、福寿水産(株)、(株)ムラタ、村芳特殊水産(株)
2	地域食材・商品を使用した商品開発・販売	(株)ファミリーマート	(株)阿部長商店、(株)八葉水産、(株)フジミツ岩商
3	「結の場」気仙沼 企業マルシェプロジェクト	アサヒグループホールディングス(株)、住友不動産(株)、SCSK(株)、メタウォーター(株)、大日本印刷(株)、積水ハウス(株)、(一社)新興事業創出機構、日本電気(株)、三井住友海上火災保険(株)、コクヨ(株)	(株)阿部長商店、(株)石渡商店、(株)加和喜フーズ、(株)斉吉商店、(株)フジミツ岩商、(株)八葉水産
4	「結の場」気仙沼 社員食堂プロジェクト	SCSK(株)、積水ハウス(株)	(株)阿部長商店、(株)石渡商店、(株)加和喜フーズ、(株)フジミツ岩商
5	被災地企業の販路拡大について	(株)ローソン	(株)八葉水産
6	被災地企業ホームページ評価	日本電気(株)	(株)斉吉商店
7	梅田スカイビル「MINNADEカオウヤ・ツクロウヤ」常設販売コーナーでの販売	積水ハウス(株)	(株)石渡商店
8	「マンション区分所有者向け」情報誌WEB通販・販売支援	住友不動産(株)	(株)石渡商店、(株)フジミツ岩商、(株)八葉水産、気仙沼鹿折加工協同組合
9	気仙沼産さんま産直企画	カメイ(株)	(株)フジミツ岩商
10	『結の場』商談会in三菱地所	三菱地所(株)	(株)中華高橋水産、(株)フジミツ岩商、(株)八葉水産、(有)盛屋水産
11	職域食堂「被災地復興支援メニュー」プロジェクト	三井不動産(株)	(株)阿部長商店
12	会員企業へのマッチング商談会の機会提供	(一社)東の食の会	(株)石渡商店、(株)八葉水産
13	従業員向け物品斡旋情報データベース掲載による商品PR・販売促進	東京海上日動火災保険(株)	(株)石渡商店、(株)八葉水産
14	「結の場」マルシェ in 泉パークタウンタピオ	三菱地所(株)	(株)八葉水産、(有)盛屋水産
15	大型デジタルサイネージを活用する「結の場チャンネル」による販路拡大支援	大日本印刷(株)	(株)八葉水産
16	自社イベントへの出展による販売支援と販売促進	積水ハウス(株)	(株)八葉水産
17	NBF新春イベントプレゼント・結の場セット	三井不動産(株)	(株)阿部長商店、(株)石渡商店、(株)八葉水産
18	丸の内東北応援フェア「マル・デ・ミヤギ」	三菱地所(株)、(株)河北新報社	(株)八葉水産、(株)石渡商店
19	社員向けマーケティング研修	(株)NTTドコモ	(株)加和喜フーズ
20	新商品開発支援プロジェクト	凸版印刷(株)	(株)八葉水産
21	「経営計画セミナー」「人事労務セミナー」「顧客対応力アップ研修」の開催	三井住友海上火災保険(株)	気仙沼企業12社
22	プレゼンテーション研修	コクヨファニチャー(株)	(株)阿部長商店、(株)石渡商店、(株)加和喜フーズ
23	商品開発導入セミナー	大日本印刷(株)	(株)足利本店、(株)阿部長商店、(株)石渡商店、(株)加和喜フーズ、(株)フジミツ岩商、(株)八葉水産
24	事業拡張時等に必要なオフィスビジネス機器(複合機・プリンタ等)のレンタル	キャノンマーケティングジャパン(株)	(株)阿部長商店、(株)加和喜フーズ、(株)八葉水産
25	今後の工場再建時や販路拡大に伴う事業所開設時などに必要なコミュニケーションツールの検討支援	キャノンマーケティングジャパン(株)	(株)阿部長商店
26	食品衛生講習会および個別企業相談会	(一財)東京顕微鏡院	(株)足利本店、(株)石渡商店、(株)八葉水産

# 平成24年度「結の場」主なマッチングプロジェクトの成果 (宮城県石巻市①)

## 新商品開発支援マッチング「三陸わかめ餃子プロジェクト」

被災地域企業の商品を使ったレシピや調理方法を考案し、新商品開発を支援する。

### 被災地域企業

(有) マルイチ西條水産

### 支援企業

リソースイチバ、(株) 杏和国际(粥菜坊)

### 被災地域企業の課題

- 業務用食材の提供を中心としていたが、震災により、既存の販路を喪失。新たに消費者向けの新商品開発が必要となっていた。

### 支援企業からの提案

- リソースイチバが運営するサイトのネットワークを活用し、被災地域の特産品(わかめ)を使った新商品のレシピを募集する。
- 募集したレシピの中から最も優れたものを被災地域企業に提供するとともに、調理指導を行うことで、高付加価値の新商品開発を支援する。

### 成果

- 平成25年5月、レシピを考案した杏和国际(粥菜坊)がマルイチ西條水産を訪問し、新メニュー開発に向けた調理指導を実施。石巻の特産品であるわかめを使用した新商品「三陸わかめ餃子」の開発につながった。
- 開発したメニューは、一般消費者向けのインターネット販売に加え、宮城県内の小・中学校63校の学校給食にも採用されるなど販路を拡大している。



開発された「わかめ餃子」



地元特産の「わかめ」を収穫する西條社長

# 平成24年度「結の場」主なマッチングプロジェクトの成果 (宮城県石巻市②)

## 霞マルシェ/日本橋室町マルシェプロジェクト

首都圏でのイベント開催により、販路拡大、商品認知度向上を図る。

### 被災地域企業

湊水産(株) / (有) マルイチ西條水産 / (株) ヤマトミ  
山徳平塚水産(株) / (一社) 石巻元気復興センター

### 支援企業

三井不動産(株)

### 被災地域企業の課題

- 石巻の水産加工業者の多くが、震災により、既存の販路を喪失。販路の新規開拓、商品認知度の向上が課題となっていた。

### 支援企業からの提案

- 三井不動産が都内で開催するイベントにおいて、被災地域企業の販売ブースを無償で提供することで、首都圏における新たな販路の開拓や、商品の認知度向上の支援を提案した。

### 成果

- 三井不動産は、平成25年10月に霞マルシェ(霞が関ビルディング)を開催。5社が参加したところ、ランチタイムには行列が出来る等、参加企業全体で約160万円の売上となった。
- 平成26年10月には2年連続での開催となった霞マルシェに加え、日本橋室町マルシェ2014(コレド室町近接の江戸桜通り地下歩道)も開催。霞マルシェ2014と日本橋室町マルシェ2014の合計で約220万円の売上となった。



「日本橋室町マルシェ2014」を視察する竹下大臣



「霞マルシェ2014」の石巻企業ブース

# 平成24年度「結の場」主なマッチングプロジェクトの成果 (宮城県石巻市③)

## 新工場再建計画支援プロジェクト

基本設計図の作成、専門的アドバイザーを通じ新工場の再建を目指す。

### 被災地域企業

(株) 米貞商店

### 支援企業

(株) 安藤・間

### 被災地域企業の課題

- 震災により工場が全壊。事業継続のためには、新工場再建による自社製造の再開が急務となっていた。

### 支援企業からの提案

- 安藤・間は、①新工場再建に向けた役所調査や基本設計図作成までを実施、②建物配置計画、内部レイアウト等基本プラン図作成にあたり、生産効率向上に向けた専門的アドバイスを行う、などの支援計画を提案した。

### 成果

- 生産設備を増強・改善することにより、震災前の工場と比べ生産効率が向上した新工場が、平成25年9月に着工し、平成26年5月に竣工した。
- 新工場の竣工に合わせ、米貞商店は、従業員の新規採用を実施し、19名を採用した。
- 新工場の稼働により、震災前以上の売上水準となっている。



平成26年5月に竣工した新工場の外観



新工場の生産ライン

# 平成24年度「結の場」主なマッチングプロジェクトの成果 (宮城県気仙沼市①)

## 職域食堂「被災地復興支援メニュー」プロジェクト

気仙沼の水産資源を大手企業の職域食堂でメニュー化。販路拡大に大きく貢献。

### 被災地域企業

(株) 阿部長商店

### 支援企業

三井不動産(株)

### 被災地域企業の課題

- 震災の影響で既存の販路が喪失。BtoBの販路の回復が急務となっていた。

### 支援企業からの提案

- 三井不動産が運営するビルの職域食堂において、気仙沼産食材を使用した新メニュー開発を実施。関連する食材の仕入れを行うことで、継続的な販売支援と認知度向上を目指すことを提案した。

### 成果

- 複数の企業が入居するオフィスビル内の職域食堂向けランチメニューを、阿部長商店と共同開発した。
- 試験販売を行ったところ好評であったことから、職域食堂運営会社のエームサービスが、平成25年12月、新宿三井ビルディングで常設メニュー化。常設メニューも約3ヶ月で2,500食を売り上げる等オフィスワーカーに好評だったため、提供箇所を都内5カ所に拡大するとともに、メニューも2種類から4種類へ倍増した。
- 累計2万食を突破したことから、平成27年2月には、記念キャンペーンを開催し、更なるPRに取り組んだ。



結の場丼  
(サンマの竜田揚げ)



結の場定食  
(イワシ、サメ、マグロ、サンマ)



結の場丼  
(かつおたたき&炙り秋刀魚丼)



結の場丼  
(びんちょうまぐろ丼)



# 平成24年度「結の場」主なマッチングプロジェクトの成果 (宮城県気仙沼市②)

## 新商品開発支援プロジェクト

商品コンセプト開発を通して被災地企業の自社ブランドを確立。販路拡大を図る。

### 被災地域企業

(株) 八葉水産

### 支援企業

凸版印刷 (株)

### 被災地域企業の課題

- 通信販売や百貨店など直接販売ルートを開拓できるような、新商品開発を通じて、自社ブランドを強化したいと考えていた。

### 支援企業からの提案

- 気仙沼の食資源調査や八葉水産の取扱い商品の特性調査などを行い、新商品コンセプトの策定やブランディング開発について、支援することを提案した。

### 成果

- 「日本一美味しい塩辛！」を造りたい、というコンセプトを基に、地元産の塩やイカなどを使った高級塩辛を開発。商品名を「塩辛（しおさち）」と名付け、平成26年3月より販売を開始した。
- 印刷会社のノウハウを活用した商品カタログは、平成26年12月に行われた「第56回全国カタログ展」（日本印刷産業連合会主催）において、銀賞にあたる「日本商工会議所会頭賞」を受賞した。
- 塩辛四種詰合せのギフトパッケージは、仙台三越の「2014年お歳暮ギフト」に採用されるなど、百貨店ルートの開拓に成功した。



八葉塩辛四種詰合せ  
ギフトパッケージ



気仙沼岩井崎手造り塩使用  
はちようしおさち  
HACHIYO SHIO-SACHI  
八葉塩辛  
ブランドロゴ



本社・赤岩工場（被災直後→現在）

# 平成24年度「結の場」主なマッチングプロジェクトの成果 (宮城県気仙沼市③)

## 復興支援マルシェの開催

マルシェ開催と併せて、社内イントラネットを活用した社内通信販売を実施。

### 被災地域企業

(株) 八葉水産

### 支援企業

三井住友海上火災保険 (株)

### 被災地域企業の課題

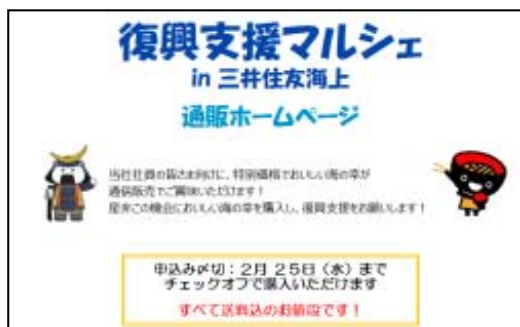
- 津波により、工場が被災。失った販路の売上減を回復するために、新規の販路開拓が必要となっていた。

### 支援企業からの提案

- 三井住友海上火災保険の本社ビルにおける復興支援マルシェの開催と併せて、イントラネットを活用した社内通信販売を行うことで、全国の社員へのPR及び商品の購入ができるようにする。

### 成果

- 平成27年2月に、本社ビルにおいて社内マルシェを開催。本マルシェの開催に先立ち、社内イントラネットを活用した通信販売を9日間実施。マルシェ当日の販売と併せると、約180万円の売上となった。
- 社内イントラネットを活用することで、全国の社員へPRを行うと同時に通信販売による商品の購入も可能とした。その結果、八葉水産以外の商品も含めると、約930名の社員が通信販売で商品を購入するなど、社内全体に復興支援の取組を広げることができた。



社内イントラネットに掲載の特設ホームページ



マルシェ開催の様子

## 平成24年度「結の場」マッチングプロジェクトの成果一覧

### 【石巻市】

#### 1. 新規ビジネス推進

	プロジェクト	支援企業	被災地域企業	支援提案内容	成果
1	新商品開発支援マッチング「三陸わかめ餃子プロジェクト」	リソースイチバ (株)杏和国際(粥菜坊)	(有)マルイチ西條水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>リソースイチバのネットワークを活用し、飲食店事業者等から被災地商品（わかめ）を使ったレシピを募集する。</li> <li>応募のあった飲食店事業者から、レシピの提供、調理指導を実施することで、地元素材を活かした付加価値の高い新商品開発を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年5月に、リソースイチバの紹介を受けた(株)杏和国際（神奈川県川崎市）が(有)マルイチ西條水産を訪問し、新メニュー開発に向けたレシピ提供や調理指導を実施。石巻の特産品であるわかめを使用した新商品「三陸わかめ餃子」の開発につながった。</li> <li>開発した「三陸わかめ餃子」は、平成25年11月から、石巻市の小中学63校の学校給食のメニューに採用された。</li> </ul>
2	機能分析、強化を通じた商品力向上プロジェクト	キリン協和フーズ(株)	(株)ヤマトミ	<ul style="list-style-type: none"> <li>キリン協和フーズ(株)の食品評価技術を用いて、(株)ヤマトミの主要製品と他社・他産地の商品を比較して、優位性の有無を分析する。</li> <li>同社のフードコーディネータが(株)ヤマトミ製品を利用したアレンジレシピの開発に協力する。</li> <li>冷凍による寿司飯の白蟻化に関する研究成果を提供、製品試験に協力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年11月、主要製品の機能分析を実施。その結果を、営業活動等に活用している。</li> </ul>

#### 2. 販売チャンネル開拓

3	「結の場」石巻 販プロジェクト	共同通	(株)トラストパートナーズ (一社)新興事業創出機構 リソースイチバ (一社)東の食の会 (株)安藤・間 (株)ラックランド 三機工業(株) あいおいニッセイ同和損害保険(株) 大日本印刷(株) メタウォーター(株) (株)ファミリーマート	湊水産(株) (株)高德海産 (株)ヤマトミ 山徳平塚水産(株) (有)マルイチ西條水産 末永海産(株) (株)丸平かつおぶし (一社)石巻元気復興センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株)トラストパートナーズは、自社顧客（コールセンター業務委託の発注企業）に対し、通信販売ニーズの掘り起こしを行い、新たな販路開拓を支援する。</li> <li>(一社)新興事業創出機構は、共同プロジェクトの進捗管理や全体調整等を行う。</li> <li>リソースイチバや(一社)東の食の会は、カタログ製作におけるノウハウを提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株)トラストパートナーズ、(一社)新興事業創出機構、リソースイチバ、(一社)東の食の会が共同で、通信販売用カタログを作成。 下記企業において、同カタログを基に、自社社員向け通販を実施し、全体で1,000個以上の販売となった。 &lt;自社社員向け通販実施企業&gt; (株)安藤・間、(株)ラックランド、三機工業(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、大日本印刷(株)、メタウォーター(株)、(株)ファミリーマート</li> <li>三機工業(株)は、平成26年6月～7月に全国各地で開催した全国産業安全衛生大会（全7回）にて社員専用通販カタログ1,300部を配布し、石巻企業の売り上げに貢献した。</li> <li>(株)ラックランドは、株主優待制度で石巻の商品を採用。これまでに2回実施し計4,100個を発送した。平成26年12月からは発送を年2回に増加、商品も拡充して継続中。</li> <li>プロジェクトに参加した被災地域企業を中心に「石巻うまいもの発信協議会」を設立。協議会では、現在も新商品の試食会、ハラル対応等活動を継続して実施している。</li> </ul>
---	--------------------	-----	--	---	---	--

4	「結の場」石巻 企業マルシェプロジェクト	(一社)新興事業創出機構 リソースイッチバ (一社)東の食の会 アサヒグループホールディングス(株) リコージャパン(株) 三井不動産(株) (株)安藤・間 (株)ラックランド 三機工業(株) SCSK(株) 日本GE(株) 日本IBM(株) コクヨ(株) 積水ハウス(株) Amazonジャパン 三井住友海上火災保険(株)	三政商店 湊水産(株) (株)高徳海産 (株)ヤマトミ (株)三政商店 山徳平塚水産(株) (有)マルイチ西條水産 (株)カクト鈴木商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援提案企業の本社ビル、事業所の社員（数百～数千人の社員が勤務）を対象にした試食会や販売会を実施。試食会では、アンケートを実施し、顧客の声を生産者にフィードバックする。また、アンケートの分析結果をもとに、新商品開発につなげる。</li> <li>・対面形式で販売を行うとともに、トークイベントやワークショップも開催し、石巻企業の営業力向上を狙う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度は、(一社)新興事業創出機構がとりまとめ窓口となり、企業マルシェを7回開催。総売上は約190万円となった。</li> <li>＜企業マルシェ実施企業＞ アサヒグループホールディングス(株)、日本GE(株)、三井不動産(株)、SCSK(株)、日本IBM(株)、リコージャパン(株)</li> <li>・平成26年度は、下記企業において、企業マルシェを6回開催。石巻企業の総売上は約100万円となった。</li> <li>＜企業マルシェ実施企業＞ SCSK(株)、アサヒグループホールディングス(株)、コクヨ(株)、積水ハウス(株)、Amazonジャパン(株)、三井住友海上火災保険(株)</li> </ul>
5	「結の場」石巻 社員食堂プロジェクト	(一社)新興事業創出機構 リソースイッチバ (一社)東の食の会 積水ハウス(株) SCSK(株) 大日本印刷(株)	湊水産(株) (株)ヤマトミ 山徳平塚水産(株) (有)マルイチ西條水産 (株)カクト鈴木商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員食堂を新たな販路として活用する。</li> <li>・社食給食会社と社員による、石巻参加各社の商品の美味しい食べ方やレシピの開発を行う。</li> <li>・試食会やキャンペーン等の結果をフィードバックし、商品力の強化を狙う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本印刷(株)では、平成25年7月～8月にかけて3回、被災地元企業の食材を用いた社員食堂メニューを提供（1回目は湊水産(株)の明太子、2回目は(株)ヤマトミのアナゴ、3回目は(有)マルイチ西條水産の莼わかめ、各回30～50食分）。</li> <li>・SCSK(株)では、平成25年の社員食堂のメニュー「あなご丼」「さんまの塩焼き」用の食材、約450食分を石巻企業が提供。</li> <li>・(株)ヤマトミでは、(一社)東の食の会経由で、SCSK(株)社員食堂から定期的に（年に1～2回、数十食分）注文が入るようになった。</li> </ul>
6	新たなチャンネル開拓プロジェクト	(一社)東の食の会	湊水産(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)東の食の会が、会員企業と被災地域企業のマッチングを行い、販路開拓につなげる。</li> <li>・また、会員企業のノウハウを活用し、店舗マーケティングを展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員企業とのマッチング成立・販路拡大には至らなかったが、被災地域企業からは、商品の認知度向上につながったとの評価を得た。</li> </ul>
7	社員用備蓄非常食の定期購入プロジェクト	三菱地所(株)	三洋食品(株) 石巻工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員用備蓄非常食として、被災地域製品を定期購入する。</li> <li>・また、グループ会社等への販路拡大支援を順次実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三菱地所(株)の社員用備蓄非常食として、グループ会社分を含めて被災地域企業の商品を購入した。</li> </ul>
8	『結の場』商談会in三菱地所	三菱地所(株)	湊水産(株) (株)ヤマトミ 山徳平塚水産(株) (有)マルイチ西條水産 末永海産(株) (株)ヤマサコウショウ (株)三政商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社施設およびネットワークを活用し、施設テナント関係者（仙台の卸売業・小売業や飲食業のバイヤー）と石巻企業・気仙沼企業との個別商談会を企画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年11月5日、三菱地所(株)東北支店にて個別商談会を開催。(株)三政商店、末永海産(株)が、それぞれ(有)ライス、(株)つかさ屋とマッチングした。現在も(株)三政商店は(有)ライスと順調に取引継続中。</li> <li>・末永海産(株)の煮ホタテは、つかさ屋全店に導入され、拡大販売中。</li> </ul>

### 3. 営業・プロモーション支援

9	食べてつながる もっと東北応援メニュープロジェクト	リソースイチャバ	(株)ヤマトミ 山徳平塚水産(株) (有)マルイチ西條水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リソースイチャバが自社のネットワークを活用し、石巻企業の商品の取扱いを希望する飲食店舗を募集し、マーケティングデータの蓄積や、飲食店との販路開拓機会を提供する。</li> <li>・協力店舗においては、メニューやアレンジレシピを考案。販促マテリアルの拡充、商品提供元を明記した特別メニューによる来店者への認知度向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北復興応援企画として、都内飲食店が参加する商品開発レシピコンテストを開催（平成26年1月）。最優秀賞となった野方食堂（東京都中野区）のレシピを元に、山徳平塚水産(株)は「骨ごといわしの香味佃煮」を製造・販売している。レシピ提供者である野方食堂でも販売することで、地域間の連携強化も図っている。</li> </ul>
10	住宅販売イベント「住まいの夢博」への出店・販売支援プロジェクト	積水ハウス(株)	(株)カクト鈴木商店 (株)ヤマトミ 山徳平塚水産(株) (有)マルイチ西條水産 (一社)石巻元気復興センター 末永海産(株) (株)山形屋商店 (株)ヤマサコウショウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積水ハウス(株)主催のイベント「住まいの夢博in東北工場」や「住まいの夢博」において復興物産展を開催し、石巻企業の販路開拓の支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「住まいの夢博in東北工場」（日時：平成25年6月8日～9日、場所：宮城県色麻町）には、約1,000人が来場した。</li> <li>・「第9回住まいの夢博2013」（日時：平成25年6月15日～16日、場所：さいたまスーパーアリーナ）には、約1万人以上が来場した。</li> <li>・「第10回住まいの夢博2014」（日時：平成26年5月31日、6月1日、場所：さいたまスーパーアリーナ）には、約1万人が来場し、前年とほぼ同程度の売上につながった。</li> <li>・他に、積水ハウス(株)本社が入居するビルでのチャリティイベント(日時：平成25年5月3日～5日、場所：大阪・梅田スカイビル)において、石巻企業の商品を販売した。</li> </ul>
11	秋葉原「MOTTAINAI フェスタ」への出店・販売支援プロジェクト	(株)国際マネジメントシステム研究所	(株)ヤマトミ 山徳平塚水産(株) (一社)石巻元気復興センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋葉原UDXで開催される環境イベント「MOTTAINAI フェスタ」と連動して開催する「東日本大震災復興支援市場」に、石巻の水産加工会社に出店してもらい、商品販売やPRを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「MOTTAINAI フェスタ」（日時：平成25年6月29日～30日）は、秋葉原駅周辺での開催であったため、国内の観光客に加え、外国人旅行者にも被災地域の水産加工品を約2.8万人の来場者にアピールすることが出来た。</li> </ul>
12	霞マルシェ/日本橋室町マルシェプロジェクト・石巻復興応援マルシェin 三井アウトレットパーク仙台港	三井不動産(株)	湊水産(株) (株)ヤマトミ 山徳平塚水産(株) (有)マルイチ西條水産 (一社)石巻元気復興センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三井不動産(株)が自社施設で開催する地域産品販売・PRイベント「霞マルシェ」（霞が関ビルディング）において、石巻水産加工業者・食品加工業者のブースを設け、商品紹介・販売会を行う。</li> <li>・自社の商業施設において、石巻企業の商品販売会「石巻復興応援マルシェ」を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「霞マルシェ2013」（日時：平成25年10月28日～31日、場所：霞が関ビルディング）を開催。石巻企業は10月28日～29日の2日間参加。期間中の総売上は約160万円となった。</li> <li>・「石巻復興応援マルシェ」（日時：平成25年11月16日～17日、場所：三井アウトレット仙台港）では、石巻に関係のあるイベントも実施され、多くの人々が訪れた。あらためて地元水産加工品の質の高さ、味の良さをアピールする機会となった。</li> <li>・平成26年には「霞マルシェ2014」（日時：平成26年10月20日～24日、場所：霞が関ビルディング）を開催。石巻元気復興センターが出店し、20日～21日の2日間参加。期間中の売上は約190万円となった。</li> <li>・また、新たに日本橋室町マルシェ2014を開催（日時：平成26年10月22日、場所：コレド室町）。石巻元気復興センターが出店し、石巻のPRを行った。</li> </ul>

13	丸の内東北応援フェア「マル・デ・ミヤギ」	三菱地所(株) (株)河北新報社	湊水産(株) (株)ヤマトミ 山徳平塚水産(株) (有)マルイチ西條水産 (株)ヤマサコウショウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>三菱地所(株)が、丸の内ビルディングで開催するイベント「マル・デ・ミヤギ」において、被災地域企業の商品を販売・PRできるブースの出展を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「マル・デ・ミヤギ」(日時：平成26年3月6日～7日、場所：丸の内ビルディング)を開催し、約1万人が来場した。人通りも多く、約300万円の売上となった。</li> <li>「マル・デ・ミヤギ」(日時：平成27年3月5日～6日、場所：丸の内ビルディング)を開催し、約1万人が来場し、200万円を超える売上となった。</li> </ul>
14	『結の場』マルシェ in 泉パークタウン タピオ	三菱地所(株)	湊水産(株) (株)ヤマトミ 山徳平塚水産(株) (有)マルイチ西條水産 (株)ヤマサコウショウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>三菱地所(株)が、自社複合商業施設において、石巻と気仙沼の企業の商品紹介や販売の機会を提供する。</li> <li>石巻商工会議所、気仙沼商工会議所と共催し、石巻、気仙沼の海産物、水産加工品の商品紹介や販売会を行うほか、情報発信スペースを活用した各種情報提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『結の場』マルシェ in 泉パークタウンタピオ(日時：平成25年11月3日～4日)をタピオ南館1Fノースコートで開催。2日間の来館者数は約18,000名。総売上は約130万円となった。</li> <li>「食材王国みやぎ 地産地消マルシェin・泉パークタウンタピオ」(日時：平成26年11月2日～3日)として同場所で開催。来館者数・売上は、ほぼ昨年と同様となった。</li> </ul>

#### 4. 業務カイゼン・企業力向上

15	(株)高徳海産ブランド強化プロジェクト	凸版印刷(株)	(株)高徳海産	<ul style="list-style-type: none"> <li>凸版印刷(株)が持つマーケティングノウハウやリサーチノウハウ(商品開発や、顧客ニーズを探る調査、販促物の効果検証)を提供し、商品のブランド化、ブランドサイトの構築、通販の事業化を目的とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年3月から6月にわたり凸版印刷(株)の社員が(株)高徳海産に9回訪問し、マーケティング・リサーチノウハウについてコンサルティングを実施した。</li> </ul>
16	湊水産(株)ブランド強化プロジェクト	凸版印刷(株)	湊水産(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>凸版印刷(株)が持つマーケティング・リサーチノウハウ(商品開発や、顧客ニーズを探る調査、販促物の効果検証)を提供し、商品のブランド化、通販事業の拡大、海外展開を目的とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年3月から平成26年5月の約1年2ヵ月間に亘り、凸版印刷(株)の社員が月1～2回被災地域企業を訪問(計15回)し、コンサルテーションを実施。マーケティングスキル向上、商品のブランド化に向けたノウハウを提供した。</li> </ul>
17	「経営計画セミナー」 「人事労務セミナー」 「顧客対応力アップセミナー」	三井住友海上火災保険(株)	(株)米貞商店 湊水産(株) (株)高徳海産 山徳平塚水産(株) 石巻水産復興会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>三井住友海上火災保険(株)は、経営者向け、従業員向けの研修プログラムを提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年5月8日～6月12日まで「経営計画セミナー」「人事労務セミナー」「顧客対応力アップセミナー」を計3回開催した。</li> <li>経営者向けに、顧客、取引先、銀行等から信頼される、社員のやる気をも高める、利益を確保するための「経営計画セミナー」、就業規則の改訂、賃金体系の見直し、退職金制度や評価制度の構築等についての「人事労務セミナー」を実施した。</li> <li>従業員向けには、お客さま対応力を向上させるための「顧客対応力アップ研修」を実施した。</li> </ul>
18	商品開発導入セミナー	大日本印刷(株)	(株)高徳海産 (株)ヤマトミ 山徳平塚水産(株) 太協物産(株) (株)マルト高橋徳治商店 石巻水産復興会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>大日本印刷グループが行っている食卓実態調査「食MAP」を活用し、石巻を代表する食材に関するデータを提供することで、商品の高付加価値化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年5月15日に商品開発導入セミナーを開催した(参加5名)。</li> <li>セミナーでは、「食MAP」を用いた商品企画にあたる担当者が講師となり、商品開発に際して商品のもつ価値と、食MAPデータや食トレンド情報を結び付ける方法を紹介した。</li> </ul>

19	人材育成(ビジネススキル向上)を目的としたファシリテーション研修	キャノンマーケティングジャパン(株)	湊水産(株) (株)高德海産 (株)カクト鈴木商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内外における会議の場において、メンバー間の合意を得る方法を理解するため、ディスカッションやワークを中心に、事例を交えながら研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年4月2日に石巻魚市場会議室にてファシリテーション研修を開催(参加8名)。研修を受講した企業のうち、湊水産(株)では、研修を受講した社員が、自主的に会議を開催するようになり、社員間のコミュニケーションが改善した。会議は週一度の頻度で継続している。</li> </ul>
20	人材育成(営業力強化)を目的としたプレゼンテーション研修	キャノンマーケティングジャパン(株)	湊水産(株) (株)高德海産 (株)カクト鈴木商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先、バイヤー、社内報告、店頭販売時に必要となるプレゼンテーション資料を作成するために、計画・作成・実行のフェーズに分けた研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年3月28日～29日に石巻魚市場会議室にてプレゼンテーション研修を開催(参加7名)</li> </ul>
21	プレゼンテーション研修	コクヨファニチャー(株)	湊水産(株) 日宝物産(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションに必要なスキル(話し方、シナリオ、資料)の基本を理解し、自己のプレゼンをセルフチェックする見方を身に付けることを目的として研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年3月8日、石巻魚市場会議室にてプレゼンテーション研修を開催した(参加12名)。</li> </ul>
22	販路拡大のためのDM作成支援プロジェクト	キャノンマーケティングジャパン(株)	湊水産(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製品の提供。販路拡大のためのダイレクトメール作成に使用する業務プリンタを無償レンタルする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年3月からレンタル開始。現在もDM作成のため、継続して使用している。</li> </ul>
23	新工場再建計画支援プロジェクト	(株)安藤・間	(株)米貞商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災した工場の再建に向けて、基本設計図の作成等、専門的アドバイザーを行う。</li> <li>・食品衛生管理(HACCP)を踏まえた施設整備に向けた支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年2月から工場再建に向けたアドバイス、基本プラン図作成に着手。平成25年9月に着工し、平成26年5月に竣工。</li> <li>・新設した工場では設備を増強・改善し生産効率を向上させ、震災前以上の売上を達成した。</li> </ul>
24	クラウド型販売管理導入支援プロジェクト	日本電気(株)	(株)ヤマトミ 山徳平塚水産(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産業向け販売管理システムの導入支援。業務システムを導入するにあたり、情報提供、運用指導を行う。</li> <li>・商品管理、取引先や仕入先管理といった基幹業務を担う業務システムの導入により、業務効率化やデータ活用による経営戦略の立案を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本電気(株)の代理店(株)SJCが、導入にあたって指導を行った。山徳平塚水産(株)がクラウド型販売管理システムを導入した。</li> </ul>

# 【気仙沼市】

## 1. 新規ビジネス推進

	プロジェクト	支援企業	被災地域企業	支援提案内容	成果
1	「サメの街気仙沼構想推進協議会」サポートプロジェクト	アサヒグループホールディングス(株) (株)NTTドコモ (株)丹青社 大日本印刷(株) (株)電通東日本 Yahoo! JAPAN(株)	(株)石渡商店 カネヒデ吉田商店 (有)三陸鮫類 高橋水産(株) (株)中華高橋水産 福寿水産(株) (株)ムラタ 村芳特殊水産(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙沼の地域資源であるサメ肉の高付加価値可や地域のブランド化を目指し、サメ肉の普及活動を実施する協議会に参画し、各支援提案企業のリソースの提供や様々なアイデア提案を実施する。</li> <li>・「サメの街気仙沼」に関するPR活動など側面的な支援を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR活動を行ったことで、サメ肉を使ったシャークナゲットの出荷量は震災前の5~6倍に増加した。</li> <li>・都内有名飲食店と協力し、サメ肉メニュー（サメラーメン、サメコロッケ、サメつくね等）を開発し、平成26年10月に実施された気仙沼市産業まつりにて発表した。新商品は、TV番組に取り上げられる等大きな反響があった。</li> <li>・平成27年2月~3月に中高齢者向けエイジングケア食の市場開拓と食育プログラムを実施。アンチエイジングのスペシャリストの協力を得て、サメの成分を活かしたメニューを開発し、気仙沼、日本橋、大阪、北九州でセミナーを実施し、約170名が参加した。</li> </ul>
2	地域食材・商品を使用した商品開発・販売	(株)ファミリーマート	(株)阿部長商店 (株)八葉水産 (株)フジミツ岩商	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙沼企業の商品や食材を使用した商品開発を支援する。</li> <li>・開発した商品は、東北6県および新潟県のコンビニエンスストアでの商品販売につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おにぎりやパスタの商品化を検討するも、輸送・保管オペレーションやパッケージ・加工の規格の指導を受けた。</li> </ul>

## 2. 販売チャンネル開拓

3	「結の場」気仙沼 企業マルシェプロジェクト	アサヒグループホールディングス(株) 住友不動産(株) SCSK(株) メタウォーター(株) 大日本印刷(株) 積水ハウス(株) (一社)新興事業創出機構 日本電気(株) 三井住友海上火災保険(株) コクヨ(株)	(株)阿部長商店 (株)石渡商店 (株)加和喜フーズ (株)斉吉商店 (株)フジミツ岩商 (株)八葉水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援提案企業の本社ビル、事業所内の社員（数百~数千人の社員が勤務）を対象に試食会や販売会を実施する。</li> <li>・試食会では、アンケートを実施し、顧客の声を生産者にフィードバックする。アンケートの分析結果をもとに、新商品開発につなげる。</li> <li>・マルシェの開催と併せて、トークイベントやワークショップを開催し、気仙沼企業の営業力向上を狙う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度は、（一社）新興事業創出機構がとりまとめ窓口となり、企業マルシェを5回開し、総売上は約530万円となった。 ＜企業マルシェ実施企業＞ アサヒグループホールディングス(株)、住友不動産(株)、SCSK(株)、日本電気(株)、三井住友海上火災保険(株)</li> <li>・積水ハウス(株)、メタウォーター(株)では、カタログ通販等により、販路開拓を支援を実施。</li> <li>・平成26年度には、25年度と同様に（一社）新興事業創出機構を窓口となって、企業マルシェを5回開催し、総売上は約220万円となった。 ＜企業マルシェ実施企業＞ SCSK(株)、アサヒグループホールディングス(株)、コクヨ(株)、積水ハウス(株)、三井住友海上火災保険(株)</li> </ul>
---	-----------------------	---	---	---	--



4	「結の場」気仙沼 社員食堂プロジェクト	SCSK(株) 積水ハウス(株)	(株)阿部長商店 (株)石渡商店 (株)加和喜フーズ (株)フジミツ岩商	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員食堂を新たな販路として提供する。</li> <li>・社食給食会社と社員による、気仙沼参加各社の商品の美味しい食べ方やレシピの開発を行う。</li> <li>・試食会やキャンペーン等の結果をフィードバックし、商品力の強化を狙う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年11月にSCSK(株)が物販試食ワークショップを開催し、(株)齊吉商店、鹿折加工協働組合、(株)八葉水産、(株)石渡商店、(株)阿部長商店が参加した。</li> <li>・積水ハウス(株)は、平成26年8月に開催した納涼祭の景品として、八葉水産のギフトを購入した。</li> </ul>
5	被災地企業の販路拡大について	(株)ローソン	(株)八葉水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北の店舗において、被災地域企業の商品を販売する。</li> <li>・自社バイヤーと連携し、魅力ある商品開発も目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年8月～平成26年7月までの1年間、約900店舗において、2商品販売し、「ぶっかけ子持ちめかぶ」は約1万7,000個、「いか三味味くらべ」は約4,000個販売した。</li> </ul>
6	被災地企業ホームページ評価	日本電気(株)	(株)齊吉商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地域企業の現行のホームページについて、コンサルティングを実施し、「売れる」内容に改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年5月に現行ホームページを確認・評価し、商品のストーリー（歴史・特徴・こだわり）や食べ方のレシピをホームページ掲載するようアドバイスした。</li> <li>・また、通信販売を行う際の注意点などについてもアドバイスを実施した。</li> </ul>
7	梅田スカイビル “ミンナDEカオウヤ・ツクロウヤ” 常設販売コーナーでの販売	積水ハウス(株)	(株)石渡商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積水ハウス(株)の本社ビル内の売店において、気仙沼企業商品の販売を行うとともに、観光旅行客やビルテナント入居会社等への新規販路開拓を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催に向けた打合せを実施。</li> </ul>
8	「マンション区分所有者向け」情報誌WEB通販・販売支援	住友不動産(株)	(株)石渡商店 (株)フジミツ岩商 (株)八葉水産 気仙沼鹿折加工協働組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住友不動産(株)のマンション入居者向け情報誌等に、気仙沼企業の商品を掲載し、販売支援を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年9月初旬から10月末まで、会報誌「ふれあい」の通販ページ及び自社サイトにおいて、(株)八葉水産、(株)石渡商店、(株)フジミツ岩商及び気仙沼鹿折加工協働組合の商品の詰め合わせセット3種類を販売した。</li> </ul>
9	気仙沼産さんま産直企画	カメイ(株)	(株)フジミツ岩商	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメイ(株)が開設しているWEB通販において、気仙沼産さんまの産直企画の実施を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年8月下旬～9月末まで、「カメイおいしいもの倶楽部」にて、さんま産直企画を実施。良質な商品を安定的に提供している信頼ある食品総合商社の通販サイトによる掲載により、気仙沼のサンマのブランド力向上に貢献した。</li> </ul>
10	『結の場』商談会in三菱地所	三菱地所(株)	(株)中華高橋水産 (株)フジミツ岩商 (株)八葉水産 (有)盛屋水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三菱地所(株)の東北支店(仙台市)において、気仙沼企業と仙台市内立地企業との商談会を開催し、販路開拓を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会には、仙台市内立地企業として、仙台三越、(株)藤崎、カメイ(株)、(株)つかさ屋、(株)こばやし、(有)ライズ、(株)東北ロイヤルパークホテルの7社が参加した。</li> <li>・その場でのマッチングは成立しなかったが、気仙沼産の素材の良さをPRできた。</li> </ul>

11	職域食堂「被災地復興支援メニュー」プロジェクト	三井不動産(株)	(株)阿部長商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>三井不動産(株)が管理するビルの職域食堂において、気仙沼食材の仕入れとメニュー化を行い、毎週継続して復興支援メニューを提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験販売を通じて、平成25年12月、新宿三井ビルディングで常設メニュー化したところ、約3ヶ月で2,500食を売り上げる等、オフィスワーカーに大変好評であったため、メニューの提供箇所を都内5ヶ所に拡大するとともに、関連メニューも平成26年2月より2種類から4種類へ倍増となった。</li> <li>平成27年2月には、累計2万食突破の記念キャンペーンを開催した。</li> </ul>
12	会員企業へのマッチング商談会の機会提供	(一社)東の食の会	(株)石渡商店 (株)八葉水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体が開催するランチ商談会への参加機会や、8月に開催された国内最大級の食品展示会「インターフードジャパン」へのブース出展機会を提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八葉水産は、2013年7月、9月、12月の商談会に参加。また2015年9月に東の食の会と居酒屋協会による合同商談会にも出店する等、販路開拓を行った。</li> </ul>

### 3. 営業・プロモーション支援

13	従業員向け物品斡旋情報データベース掲載による商品PR・販売促進	東京海上日動火災保険(株)	(株)石渡商店 (株)八葉水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京海上日動火災保険(株)は、自社の従業員向けサイトにおいて、気仙沼企業の商品販売を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>約1万7000人の従業員に向けて、(株)石渡商店と(株)八葉水産の商品販売を実施した。参加企業商品の商品PRの場となった。</li> </ul>
14	「結の場」マルシェ in 泉パークタウンタピオ	三菱地所(株)	(株)八葉水産 (有)盛屋水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>三菱地所(株)が保有する複合商業施設において、気仙沼の海産物、水産加工品のPR、販売等を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『結の場』マルシェ in 泉パークタウンタピオ(日時：平成25年11月3日～4日)を開催。2日間の来館者数は約18,000名。総売り上げは約130万円となった。</li> <li>平成26年には、「食材王国みやぎ 地産地消マルシェ in 泉パークタウン タピオ」(日時：平成26年11月2日～3日)として同場所でイベントを開催したところ、来館者数・売上は、ほぼ昨年と同様であった。</li> </ul>
15	大型デジタルサイネージを活用する「結の場チャンネル」による販路拡大支援	大日本印刷(株)	(株)八葉水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR仙台駅2階にある大型デジタルサイネージ「iステーション仙台」において、被災地域企業のプロモーション映像を「結の場チャンネル」として放映し、被災地域企業のPR支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年8～9月に、「iステーション仙台」を活用して、(株)八葉水産の商品PRを実施した。</li> </ul>
16	自社イベントへの出展による販売支援と販売促進	積水ハウス(株)	(株)八葉水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>積水ハウス(株)の自社工場で開催するイベントへの出展を提案し、被災地域企業の商品の販売促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年10月に開催した「住まいの夢博in東北工場」に(株)八葉水産が出展した。</li> <li>平成26年11月に開催した大阪本社企業マルシェでは、目標以上の売上を達成した。</li> <li>平成27年3月マスコミ向け決算説明会には、手土産品に(株)八葉水産の商品が採用された。</li> </ul>

17	NBF新春イベントプレゼント・結の場セット	三井不動産(株)	(株)阿部長商店 (株)石渡商店 (株)八葉水産	・支援提案企業の子会社が、ビルのテナント向けにイベントを開催するにあたり、会場アンケートの回答者へのプレゼントとして、気仙沼のグルメセットを採用。	・イベント開催のプレゼント用として、「宮城県気仙沼グルメ結の場セット」を計111セットを販売した。
18	丸の内東北応援フェア「マル・デ・ミヤギ」	三菱地所(株) (株)河北新報社	(株)八葉水産 (株)石渡商店	・三菱地所(株)が河北新報社と共催で開催するイベント「マル・デ・ミヤギ」において、被災地域企業の商品を販売・PRできるブースの出展を行う。	・「マル・デ・ミヤギ」(日時:平成26年3月6日~7日、場所:丸の内ビルディング)を開催し、約1万人が来場した。人通りも多く、参加企業全体の総売上は約290万円となった。  ・「マル・デ・ミヤギ」(日時:平成27年3月5日~6日、場所:丸の内ビルディング)を開催し、約1万人が来場し、約220万円の売上となった。

#### 4. 業務カイゼン・企業力向上

19	社員向けマーケティング研修	(株)NTTドコモ	(株)加和喜フーズ	・マーケティング戦略の専門家を招へいし、被災地域企業に対するマーケティング研修を実施する。	・平成25年8月にマーケティング・SWOT分析等についてセミナーを開催した(参加者4名)。
20	新商品開発支援プロジェクト	凸版印刷(株)	(株)八葉水産	・通販、百貨店等への直接販売ルートを開拓し、自社ブランドを確立させるため、被災地域企業に対する商品開発、ブランド戦略支援を実施する。	・「日本一美味しい塩辛!」を造りたい、というコンセプトから商品名を「塩幸(しおさち)」と名付けた新商品を、平成26年3月より販売を開始した。  ・同商品のカタログは、平成26年12月、(一社)日本印刷産業連合会主催「第56回 全国カタログ展」において、全国から寄せられた379点の中から銀賞にあたる「日本商工会議所会頭賞」を受賞した。
21	「経営計画セミナー」「人事労務セミナー」「顧客対応力アップ研修」の開催	三井住友海上火災保険(株)	気仙沼企業12社	・被災地域企業が抱えている経営課題等を解決するため、顧客向け研修プログラムを提供する。	・平成25年6月~7月まで「経営計画セミナー」「人事労務セミナー」「顧客対応力アップセミナー」を計3回開催した。
22	プレゼンテーション研修	コクヨファニチャー(株)	(株)阿部長商店 (株)石渡商店 (株)加和喜フーズ	・プレゼンテーションに必要なスキル(話し方、シナリオ、資料)の基本を理解し、セルフチェックを行う研修を実施する。	・平成25年9月に「プレゼンスキル、シナリオ作り、話し方トレーニング、見せるための資料作り」の研修を実施した(参加:12名)。
23	商品開発導入セミナー	大日本印刷(株)	(株)足利本店 (株)阿部長商店 (株)石渡商店 (株)加和喜フーズ (株)フジミツ岩商 (株)八葉水産	・新たな販路(BtoC)を開拓するため、大日本印刷グループが行っている、食卓を市場に見立てたマーケティング情報「食MAP」の活用方法等に関する研修を実施する。	・平成25年6月に「『売れる』商品作りの考え方」研修を実施した(参加:20名)。

24	事業拡張時等に必要なオフィスビジネス機器(複合機・プリンタ等)のレンタル	キャノンマーケティングジャパン(株)	(株)阿部長商店 (株)加和喜フーズ (株)八葉水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業拡張時等に必要なオフィスビジネス機器(複合機、プリンタ等)の無償レンタルを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株)阿部長商店、(株)加和喜フーズ、(株)八葉水産の3社に対し、複合機の無償レンタルを実施した。</li> <li>(株)八葉水産には、催事で必要な販促物サンプル作成支援を併せて実施し、現在も無償レンタルを継続している。</li> </ul>
25	今後の工場再建時や販路拡大に伴う事業所開設時などに必要なコミュニケーションツールの検討支援	キャノンマーケティングジャパン(株)	(株)阿部長商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務所再建に伴う課題について、検討支援を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年7月、コミュニケーションツールを活用した経営者会議のデモンストレーションや、キャノンマーケティングジャパン(株)のオフィス見学ツアー、新しい事務所再開に関するディスカッションを実施した。</li> </ul>
26	食品衛生講習会および個別企業相談会	(一財)東京顕微鏡院	(株)足利本店 (株)石渡商店 (株)八葉水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場作業者の衛生意識の向上、日々製品の安全確保に努めている品質管理担当者への知識の向上を目的に、食品衛生の基本や食中毒の種類・予防等についての講習会を実施する。</li> <li>また、工場点検を行い、見分調査・検体検査の結果を踏まえて工場ごとに衛生状態をフィードバックする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年12月、(株)石渡商店、(株)足利本店、(株)八葉水産の3社に対して衛生講習会及び個別企業相談会を実施した。</li> <li>平成26年2月、製造ラインを確認した上で工場点検結果報告会を開催し、品質管理への意識向上を図った。</li> </ul>

- 大手企業と被災地域企業とのマッチングを目的としたワークショップを開催。
- 大手企業は、被災地域の企業ニーズに応え、自社の利害を超えて、技術、情報、販路など、自らの経営資源を被災地域企業に幅広く提供。
- 被災地域企業は、通常のビジネスマッチングでは得られない販路やアイデア等を得られる。

被災地域企業

## 【経営課題(例)】

- ・新商品の開発手法がわからない
- ・施設は復旧したが、販路がない
- ・企画立案担当者などの担い手不足

課題  
相談

ワークショップ  
において検討

支援  
提案

マッチング

大手企業等

## 【支援提案(例)】

- ・自社ノウハウやアイデアの提供
- ・社内販売、社員食堂等での販売機会提供
- ・人材育成支援・研修プログラム提供

## 連携事業の創出

## ワークショップ開催実績

- ・平成24～26年度に岩手、宮城、福島の3県で10回開催。
- ・被災地域企業延べ82社、支援企業延べ269社参加。

	開催日	開催場所	地域企業	支援企業		開催日	開催場所	地域企業	支援企業
第1回	H24.11.28	宮城県石巻市	13社	35社	第6回	H26.2.6	福島県福島市	8社	26社
第2回	H25.2.13	宮城県気仙沼市	10社	33社	第7回	H26.12.9	福島県南相馬市	8社	28社
第3回	H25.11.7	宮城県南三陸町	6社	21社	第8回	H27.1.22	宮城県多賀城市	7社	29社
第4回	H25.12.4	宮城県亘理町	6社	19社	第9回	H27.2.5	岩手県大船渡市	9社	26社
第5回	H26.1.29	岩手県宮古市	6社	26社	第10回	H27.2.13	宮城県気仙沼市	9社	26社

## 石巻の成果例:企業マルシェの開催

- 大手企業が、社員食堂などの自社施設を、イベント・物販の場として提供する「企業マルシェ」を実施。



企業マルシェ開催風景

## 気仙沼の成果例:地域資源のブランド化支援

- 大手企業が、被災地の食品加工業等に、サメ肉の高付加価値化、新商品開発のアイデア提案や、販売促進、PR活動に協力。



PR活動支援の一環として、HPを作成